

誰もが安心して暮らし続けられるための居場所づくり

少子高齢化や社会構造の変化等を背景に、地域では支え合いの基盤が弱まってきています。さらに新型コロナウイルスの影響で、これまでは把握されていなかった地域生活課題も顕在化しました。

そうした中で、地域では地区社協や町内会・自治会を中心に地域行事の再開や新たなつながりづくりに取り組まれています。また、地域団体以外にも有志者による「こども食堂」の取組など、様々な団体が「居場所づくり」に取り組まれています。

今回は市内でそうした活動に取り組まれている団体と、本会が実施する「居場所づくり連絡会」について紹介します。

掲載ページと対象種別

P1～2 きつね倶楽部：若年性認知症

P2～3 西引御堂：どなたでも

P3～4 サードプレイスなごみ：どなたでも

～若年性認知症の人の居場所～

きつね倶楽部 (中区江波)

きもと 木元 あゆみ 結美さん

広島市認知症
地域支援推進員
(中区担当)



65歳未満で発症した認知症を「若年性認知症」と言いますが、認知症と比べ若年性認知症は、働き盛りの世代で発症するため、仕事や家族等、生活への影響が大きくなりやすいと言われています。認知症の方に比べ、“若年性認知症の方が集まれる場所がない”との思いから、2017年に活動を開始されました。江波に伝わる昔話「おさん狐」から「狐のように楽しい自分に変身しよう」という願いを込め、「きつね倶楽部」と名付け、毎週月曜日の10時から14時で活動されています。

Q.どんな活動をされていますか？

A. 私は広島市認知症地域支援推進員の中区担当ですが、住んでおられる地区は限定せず自分で参加できる方を対象にしています。現在は当事者5名、スタッフ2名、ボランティア10名で毎回参加者の思い・やりたいことが少しでもできるよう、みんなで話し合いながら活動しています。参加者が趣味・得意としている活動（ギター等の音楽やスポーツ等）はもちろんのこと、地域や近隣施設から簡単な仕事として木工作業などの依頼も受け、活動費の確保にもつなげています。



施設からの依頼で壊れた机を修繕中



昼食後の団らん

Q.毎週開催するのは大変ではないですか？

A. 専門職だけでなく色々な人の支援を受けることで、参加者が一人で参加できて、毎週開催できています。『せっかく来たのだから楽しい気持ちで自宅へ帰ってほしい』という思いを大切にしながら、ボランティアの方とも参加者の状況や思い等の情報を共有しています。また3か月に1度、参加者の家族の方と「きつねカフェ」というミーティングの場も設けることで、症状が進行し活動に参加できなくなった人の家族とも話ができる場となっています。



楽しい気持ちで帰宅してほしいと最後まで見送ります

Q.今後の想いを教えてください。

A.月1回近くの保育園児と一緒に、野菜の収穫や参加者が得意なギター演奏で歌うなどの地域との交流を続けています。様々な場を通じて若年性認知症について悩みを抱える方や関係者に活動を知ってもらったり、同じような居場所が他にも増えればと思います。



▲参加者が大事にしている想いや、これからの人生でやりたいこと・希望等を記し、「人生の木」を作成している。



▲園児たちと野菜を収穫中

きつね倶楽部 詳細データ

活動場所：中区江波西2丁目14-8(市営住宅集会所)

開催日時：毎週月曜日 10時～14時

<連絡先>

悠悠タウン江波地域貢献部

電話：082-296-4880

～家でも学校でもない“みんなの居場所”～

TinySpace にしひきみどう 西引御堂 (中区十日市)

運営委員

みつだ みちこ

満田 美智子さん

精神保健福祉士・社会福祉士

介護支援専門員



「西引御堂」とは、活動拠点のある中区十日市の昔の町名で、江戸時代に“人々の寄り合う「市」を立てるのに寺の「御堂」を引いてきた”ということに由来しています。その名の通り、昔のように色々な人が集う場になるようにと、満田さんの実家の1階を改修し、令和4年9月から活動されています。活動内容としては「十日市マルシェ」、「ワンコイン塾」、「コミュニティカフェ」、「こども食堂」の4つの柱を中心に、イベントの開催やレンタルスペースとしても運営されています。今回は「十日市マルシェ」(就労支援事業所の販売)に伺いました。

Q.活動を立ち上げたきっかけは？

A.長年、福祉関係の仕事に携わる中で、「向こう三軒両隣」という昔ながらのコミュニティが失われてきた今だからこそ、地域の中に人と人が繋がりが、もっと安心できる場を作ることが必要だと思っていました。そして、広島市社協の研修に参加し、こども食堂などの話を聞いて活動を立ち上げることにしました。

Q.活動の中で気をつけていること、特徴はありますか？

A.「いつでも、どなたでも利用できる」をモットーに対象者を限定せず、休憩だけの利用でも大丈夫としています。また、最初は場所を提供するだけでしたが、来られる方が色々な悩みを話されたこともあり、現在はできるだけ話を聞き、ご縁がご縁をつなぐように色々なつながりができればと思っています。



道路に面しているので、散歩中にこの看板を見て、立ち寄ってくれる人も

室内の様子▶



Q. 今後の想いを教えてください。

A. 地域では地区社協を中心に色々な活動をされている一方で、生きづらさや色々な生活課題に対する支援策の網から抜け落ちてしまう人もいるので、ひとり親家庭や不登校の方への支援などを私たちも少しずつ行っています。

将来的にはそうした人が少なくなっしてほしいですし、今年は活動場所の前にある井戸を復活させ、「防災カフェ」を開催する等イベントもできればと考えています。

▼就労支援事業所の野菜、パン販売はリピーターも多い。



▶弁当販売業務終了後にハンドマッサーを受け取る就労支援事業所の利用者さん



TinySpace 西引御堂 詳細データ

活動場所：中区十日市町 2 丁目 7-16

開催日時：ホームページをご覧ください

<連絡先>

満田 美智子

電話：080-1636-9012

E-mail：nenemi32d@gmail.com

西引御堂
ホームページ▼



～あったらいいな こんな場所～

サードプレイスなごみ (西区南観音)

共同代表者



よしなが みわ
吉永 美和さん

きたくら あき
北倉 亜季さん

日本ハーバリウム協会会員

介護福祉士・保育士

「みなさんにとって自宅でも職場でもない、“第3の居場所”になってほしい」という願いを込めて名付けられたサードプレイスなごみ。活動場所の確保をはじめ立ち上げに試行錯誤しながら R5 年 8 月から活動されています。主な活動として生後 3 か月以上の乳幼児から高齢の方までを対象とした、美容院や参観日、育児や介護の休息などで利用できる一時預かりやオープンスペース、ワークショップの開催や百歳体操などに取り組まれています。

Q. 活動を立ち上げたきっかけは？

A. PTA 役員の活動で知り合っ、「介護関係の仕事しながら要介護状態になっても気軽に参加できる居場所があればいいな」、「引っ越してきて子育てに不安があったので、そうした親子の居場所があればいいな」というそれぞれの想いを共有し、必要な時に誰でも利用できる居場所を作れないかと考えました。

Q. 二人での活動は大変ではないですか？

A. どなたでも対象にしていることで広報が難しく、運営的にも利用料で賅っているのが大変ですが、近所の 90 代の女性が来られて、小さな子どもがかき氷を作る様子を見て「ここに来て良かった」と言ってもらえると、どなたでも対象にして活動している意味があると思って、続けています。

▼色々なニーズに対応できるように一軒家を借りて活動



Q. 今後の想いを教えてください。

A. 今は近所の方が利用されていますが、今後は専門機関と連携して、要介護の方やひきこもりの人などにも知ってもらって、安心できる場所として活用してもらいたいです。

生活・仕事のあり方が大きく変化する中で、息抜きやリフレッシュ、気持ちのリセットができる「第3の居場所」のようになればと思って活動を続けながら、将来的には「あったらいいな」こんな場所から「あって良かったな」こんな場所」と利用する人たちに思ってもらいたいです。



ワークショップで人気のハーバリウム

バナナジュースを飲みに来るだけでもOK



かき氷づくりの様子。机が汚れても気にしないで良いような関係性を作っています。



みんな笑顔で過ごせる居場所です



サードプレイスなごみ 詳細データ

活動場所：西区南観音6丁目 12-14

開催日時：インスタグラム参照

<連絡先>

北倉 亜季・吉永 美和

電話：090-1358-1420

E-mail：nagomi.3.p@gmail.com

サードプレイスなごみ
インスタグラム



～居場所づくり連絡会のご紹介～

居場所づくり連絡会は平成25年度に開催した「社会的課題に取り組む地域福祉活動実践発表会」の参加者を中心に発足し、現在では2か月に1度のペースで居場所づくりの活動に取り組む、または取り組もうとする団体や個人が集まり、居場所の内容充実や新たな居場所づくりについて情報交換を行う場となっています。

連絡会には、こども食堂やひきこもり支援、非行予防等さまざまな課題に取り組む団体・個人の方が参加されており、「他の団体の活動を聞いて参考にしたい」、「連絡会に参加し自分の活動を報告することで活動を続ける一つのモチベーションにつながっている」、「自分の気持ちを後押ししてもらえる場」というような想いをもっています。

居場所づくりの取組に関心のある方はお気軽にご参加ください。なお参加希望の方は人数把握のため事前にご連絡ください。



連絡会の様子

活動場所：広島市総合福祉センター

(南区松原町5-1 BIGFRONT ひろしま6階)

開催日時：偶数月第4水曜日 13:30～15:30

連絡先：広島市社会福祉協議会 地域福祉推進課
地域福祉係

電話：082-264-6403

FAX：082-264-6413